

令和4年度 卒業研修優秀者表彰事業について

工大杜の会事務局

工大杜の会は、今年度から都市マネジメント学科への支援として「卒業研修優秀者表彰事業」を新設しました。

今年度の都市マネジメント学科卒業研修発表会は、令和5年2月9日（木）、10日（金）に実施されることから、学科と調整を図り「卒業研修優秀者表彰事業」に対する支援金贈呈式を以下の日程で行いました。

日時：令和5年1月30日（月） 10時から

場所：6号館4F 学科創立50周年資料室

贈呈式には、学科より須藤敦史学科長、高橋敏彦先生、菅原景一先生の3名、工大杜の会から船山克也会長、齋藤（圭）副幹事長、高橋（正）庶務、高橋（信）会計の4名、計7名が参加しました。



贈呈の様子【左：船山克也会長、右：須藤敦史学科長】（撮影：高橋（信）氏）

贈呈に際し、船山克也会長からあいさつと工大杜の会の「卒業研修優秀者表彰事業」支援に対する趣旨・位置付け、（以下の1）～3））をお伝えし、学科を代表し須藤敦史学科長から感謝のお言葉をいただきました。

【趣旨・位置付け】

- 1) 工大杜の会として、都市マネジメント学科学部修了生に対し、研究室単位における卒業研修功労者への「卒業研修優秀者賞」を新設し、表彰する。

（対象者は、優秀な卒業研修を行った学生はもとより、研究室内をまとめることに寄与した学生、研究室のムードメーカー的存在の学生など、多種多様な場面においてキラリと光るものを持った人材に対して表彰されるものであって欲しいと考えます）

- 2) 学科同窓会（工大杜の会）の存在をアピールすることで、同窓会活動を知る一つのきっかけとなり、卒業後、工大杜の会の各種行事に積極的に参加してもらうこと、ひいては、将来の同窓会を担う委員（学年幹事）等の人材確保につながることへの期待。
- 3) 在学中に母校に対する帰属意識を高める。

※表彰については、各研究室で2名程度（11研究室×2名＝22名）を対象者として選定していただくこと以外、賞状や贈呈品等に関しては学科に一任致しました。

今年度新設した「卒業研修優秀者表彰事業」ですが、この事業を契機として、次年度以降も卒業研修に対する学生達の意識向上につながることを期待するものです。



参加者による記念撮影（撮影：高橋（信）氏）

（都市マネジメント学科：中央から右に須藤敦史学科長、菅原景一先生、高橋敏彦先生）
（工大杜の会：中央から左に松山克也会長、高橋（正）庶務、齋藤（圭）副幹事長）

贈呈式終了後、都市マネジメント学科と工大杜の会の参加者による意見交換が行われました。

学科からは、現在の就職状況、学生の意識（就職先選定の条件等、地元志向の増加）、大手に比べ地元企業（東北地方）の情報量が少なく、選定の際に不安が多いことから、地元を希望しつつも知名度のある関東以西の企業に就職する傾向にある。



意見交換の様子（撮影：高橋（信）氏）

そのため、都心部の他、東北の各県単位による説明会の開催に対する要望等が出されました。

工大杜の会からは、官公庁から企業に対する各種要請、近年の人材・経営を含めた企業動向、地元企業を中心とした情報発信（発信と人材確保との乖離）等について話されました。

最後に、今後、共通する事項や問題解決（人材と企業マッチングのための情報共有、説明会等の強化）に向け、これまで以上に学科と工大杜の会が連携していくことを確認しました。

以上